

足掛け 4 年、著者渾身の書き下ろし！

『日本が全体主義に陥る日—旧ソ連邦・衛星国30カ国の真実』

ソ連崩壊から 25 年——。旧ソ連邦15カ国＋衛星国15カ国を現地取材。

全体主義の呪いは本当に解けたのだろうか？

(著者)宮崎正弘

〈価格〉1,600 円＋税 〈発売日〉2016 年 12 月 7 日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2016 年 12 月 7 日に『日本が全体主義に陥る日』を発売いたしました。

ソ連が崩壊し、15 の国々に分裂してから四半世紀が経過しました。ソ連の衛星国といわれた 15 の国々もそれぞれが独自の道を歩み始めました。そこで、著者である宮崎氏が、足掛け4年かけて旧ソ連邦 15 カ国、衛星国 15 カ国を現地取材、その内容をまとめたのが本書になります。

◎本書の特徴

- ・足掛け 4 年、旧ソ連邦15カ国＋衛星国15カ国を現地取材。
- ・カラーグラビア＋128枚の現地写真付き
- ・ソ連崩壊から 25 年、取材各国が全体主義の呪いから脱却できたかを徹底分析
- ・プーチンのロシアで何が起きているのか？
- ・じつは全体主義に向かっているのは日本！？

＜本書の内容＞

はじめに ●ソ連崩壊から二五年

プロローグ●全体主義と民主主義

❖第一章 ●プーチンのロシアで何が起きているのか

❖第二章 ●バルト三国(エストニア、ラトビア、リトアニア)

❖第三章 ●スラブの兄弟(ウクライナ、ベラルーシ)とモルドバ

❖第四章 ●南カフカス三ヶ国を往く(アゼルバイジャン、ジョージア、アルメニア)

❖第五章 ●中央アジアのイスラム五カ国(ウズベク、カザフ、キルギス、タジク、トルクメニスタン)

❖第六章 ●ポーランド、チェコ、スロバキアそしてハンガリー

❖第七章 ●ドナウ川下流域(ルーマニアとブルガリア)の明るさ

❖第八章 ●旧ユーゴスラビア七ヶ国(スロベニア、クロアチア、セルビア、ボスニア、モンテネグロ、コソボ、マケドニア)とアルバニア

❖第九章 ●モンゴルの悲劇は終わっていない

エピローグ●むしろ全体主義に転落しそうなのは日本ではないのか

宮崎正弘(みやざき まさひろ)

評論家

1946年金沢生まれ。早稲田大学中退。「日本学生新聞」編集長、雑誌『浪漫』企画室長を経て、貿易会社を経営。82年『もうひとつの資源戦争』(講談社)で論壇へ。

国際政治、経済などをテーマに独自の取材で情報を解析する評論を展開。中国ウォッチャーとして知られ、全省にわたり取材活動を続けている。

中国、台湾に関する著作は五冊が中国語に翻訳されている。

代表作に『日本が在日米軍を買収し第七艦隊を吸収・合併する日』『日本と世界を動かす悪の孫子』(ビジネス社)、『中国大分裂』(ネスコ)、『出身地で分かる中国人』(PHP新書)など多数。最新作は『世界大地殻変動でどうなる日本経済』(渡邊哲也氏との共著、ビジネス社)。



著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。

《 お問い合わせ先 》

株式会社ビジネス社 広報担当:松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

TEL 03-5227-1602/FAX 03-5227-1603